

色で遊ぼう

作成日：2022/9/12
対象児：3歳児ゆり組
作成者：小城亜矢子

ねらい 色の変化に気付いたり、変わっていくことへの不思議さを体験することを楽しむ



振り返り

ある雨上がりの夕方、大きな虹がかかっていたのを発見した子ども達。「いろんな色がある！」と大喜びでした。ゆり組では1学期から天気や虹に興味があり、6月のドキュメンテーションにもしましたが、何かそこから発展できるものはないかと考えていたところでした。教材プリントや塗り絵を通して色に興味を持ちだしたところでもあったので、制作で絵の具を使った残りを使って色水遊びをしました。初めはそのままの色水をカップに移してジュース屋さんごっこを楽しんでいましたが、徐々に色が混ざりだすと「紫になった！」と色が変わることを発見しました。また水で薄まってくると「ピンクになってきたよ」と色の濃淡にも気づきました。なぜ変わったり、薄くなったりするのか、また何色と何色を混ぜると何色ができるのかまではわからない子ども達ですが、そこはあえて答えを導くのではなく子ども達と一緒に「ふしぎだね」「きれいだね」と思いを共有するまでにしています。これから「どうして?」「なんで?」という声が出てきたら一緒に試していける遊びを取り入れていきたいと思っています。子ども達が作り上げたオリジナルカラーをお友達やお家の方にも見てもらえるように並べてみたり、ざるにティッシュペーパーを敷いて色をつけてみたりもしました。

今回は保育者が色を用意しましたが、子ども達で色を用意してみてもいいし、これから園庭になる木の実や草花を使って自然物を使ってみてもまたおもしろい発見があるだろうと、これからの保育計画が楽しみです。
(豊かな感性と表現、言葉による伝え合い、自然とのかかわり)

